

作成日：2005年04月01日

改訂日：2021年11月01日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	ステアロイル乳酸カルシウム (ペルフ)
会社名	株式会社武蔵野化学研究所
本社	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
担当部門	品質保証室
連絡先	電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146
整理番号	L04-01

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分外
最重要危険有害性	
有害性	特に無し
環境影響	生分解性の良好な物質である。
特定の危険有害性	特に無し
分類の名称	分類基準に該当しない

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名または一般名	ステアロイル乳酸カルシウム (慣用)
化学特性	本品は、ステアリン酸を主体とする脂肪酸の乳酸類 (重縮合乳酸を含む) とのエステル化物のカルシウム塩と、これに関連する遊離の酸類およびカルシウム塩類からなる混成物である。
官報公示整理番号	(7)-2115 ((7)-2113 等を含む) (化審法)
安衛法番号	2-(4)-383
CAS No.	5793-94-2, 4508-49-0
TSCA	登録有り
EINECS	227-335-7
輸出統計品目	2918.11-900
輸入統計品目	2918.11-000

### 4. 応急措置

皮膚に付着した場合	融解時以外は問題ないが、石鹼で洗う。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちに外す。
吸入した場合	すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。
誤飲した場合	すみやかに医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
火災時の特定危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒物を含む可能性があるため、吸入しないよう、注意する。
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、少量時は水をかける。大量時は消火剤を使用し、消火する。水消火も効果的である。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	保護メガネ、作業衣、ゴム手袋またはビニル手袋を着用する。
環境に対する注意事項	生分解性があり、魚毒性も低いと考えられる。
除去方法	冷却し、固化させて、次の処置を行う。 漏出部分からはがれているときは、回収する。固着時は、はがして取る。なお、付着している部分は、削り取り、その後、溶剤で拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	特に無し
注意事項	吸湿性があるので湿気に注意して取り扱う。
安全取扱い注意事項	融解した本品が、熱時、皮膚等に付いたとき、火傷の恐れがあるので注意する。

### 保管

適切な保管条件	遮光した密閉容器にて、25℃以下で保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン等の樹脂系容器

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

### 保護具

保護メガネ、保護手袋（ゴム製等）、作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

性状 白～帯黄色の粉末で、においがいいか、又は特異なにおいがある。

### 物理的状态が変化する特定の温度

融点 45～60℃

引火点 222℃（クリーブランド開放式）

燃焼熱 30,700 J/g

爆発特性 該当せず

比重 融解時(60～100℃)約 1.0

### 溶解性

溶媒に対する溶解性 水 : 不溶  
その他：ベンゼンに可溶(17g/100ml ゲル状)

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

吸湿し、徐々に加水分解される。

### 反応性

水中に長く置くと、加水分解を起こし、脂肪酸が遊離する。

### 避けるべき条件

裸火、過熱、高湿度

### 混触危険物質

強酸化性物質

### 危険有害な分解生成物

一酸化炭素

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

LD<sub>50</sub> 10985 mg/kg (マウス)  
25000 mg 以上/kg (ラット、経口)

### 局所効果

データ無し

### 変異原性

細菌を用いる変異原性試験で陰性

### 刺激性

無し (ウサギ、eye)

## 12. 環境影響情報

### 残留性／分解性

分解性良好

## 13. 廃棄上の注意

可燃物と混合して、焼却処理する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

特に無し

### その他

車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。  
運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
高温および冠水を避ける。

15. 適用法令

食品衛生法 食品添加物  
ポリオレフィン等衛生協議会 ポジティブリスト

16. その他の情報

【引用・参考文献】

- 1) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 2) 社内資料
- 3) WHO Food Additives Series No.5, 1974
- 4) 変異原と毒性 5(6)579-587 (1982)
- 5) Drug & Cosmetic Ind. 122(5), 35~ (1978)

【問い合わせ先】

・記載内容の問い合わせ先

株式会社武蔵野化学研究所  
営業本部

電話番号 03-6810-0242

FAX 番号 03-6810-0148

・運送中の問い合わせ先

株式会社武蔵野化学研究所  
磯原工場 業務部

電話番号 0293-42-1147(代)

FAX 番号 0293-42-1185

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常 of 取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意ください。